

**製品名: CYP2E1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09657**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	56kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CYP2E1
別名	CYP2E1; CYP2E; Cytochrome P450 2E1; 4-nitrophenol 2-hydroxylase; CYP11E1; Cytochrome P450-J
遺伝子 ID	1571.0
SwissProt ID	P05181
免疫原	抗血清はヒトシトクロム P450 2E1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 371-420

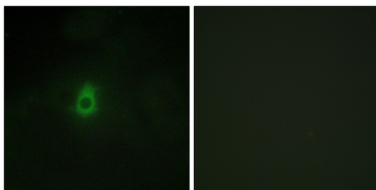
**背景**

この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。このタンパク質は小胞体に局在し、エタノール、糖尿病状態、および飢餓によって誘導されます。この酵素は、エタノール、アセトン、アセタールなどの内因性基質だけでなく、ベンゼン、四塩化炭素、エチレングリコール、そしてタバコの煙に含まれる前変異原であるニトロソアミンなどの外因性基質も代謝します。この酵素は基質が多数存在するため、糖新生、肝硬変、糖尿病、がんなど、様々なプロセスに関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: 4-ニトロフェノール + NADPH + O(2) = 4-ニトロカテコール + NADP(+) + H(2)O.,補因子: ヘム基.,機能: いくつかの前発がん性物質、薬物、溶媒を反応性代謝物に代謝する。多くの薬物や生体異物を不活性化し、また多くの生体異物基質を肝毒性または発がん性物質へと生体活性化する。誘導: エタノールおよびイソニアジドによる。オンライン情報: CYP2E1 アレル,オンライン情報: CYP2E1 エントリー,類似性: シトクロム P450 ファミリーに属する。 ,

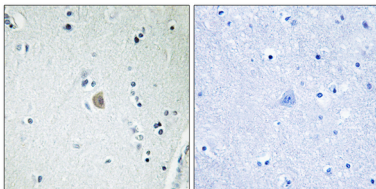
## 研究分野

アラキドン酸代謝;リノール酸代謝;シトクロム P450 による異物代謝;薬物代謝;

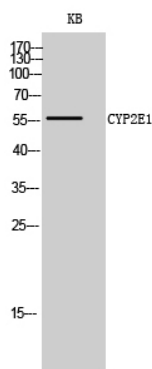
## 画像データ



シトクロム P450 2E1 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



シトクロム P450 2E1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



1: 500 に希釈した CYP2E1 ポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット分析